



障害を持つ生徒のための本人中心の計画作成

本人中心の計画作成とは何ですか？

本人中心の計画作成とは、障害を持つ生徒が未来に対して準備するのを家族や友人などが支援するのに役立つプロセスです。このプロセスは、生徒が自分の関心や夢を共有し、それらを実現する計画を立てるのに役立ちます。

障害を持つ生徒にとって、本人中心の計画作成が重要なのはなぜですか？

障害者教育改善法 (Individuals with Disabilities Education Act (IDEA)) では、適切な場合には16歳までに生徒の個別教育計画 (Individual Education Program (IEP)) に移行計画を含めるよう要求しています。

Georgia州では、移行計画は、遅くとも最初のIEPが有効になるまでに完了します。最初のIEPが有効になるのは、生徒が9年生、16歳になったときです。IEPチームによって適切であると判断された場合には、16歳未満の場合もあります。計画は毎年更新されます。本人中心の計画作成は、移行計画を立てるのに必要な情報を識別するのに役立ち、生徒の関心や好み、成果やスキル、まだ学ぶ必要があること、学校を卒業したらしたいことを反映します。

本人中心の計画を作成する第一歩は何ですか？

最初に計画作成プロセスを設計するために事前ミーティングを開きます。事前ミーティングには、生徒や保護者、教員などの主要な参加者が参加できます。この事前ミーティングでは以下のような項目が決定されます。

- 誰にチームのメンバーになってもらうか？
- いつどこでミーティングを開くか？
- ミーティングに十分に参加するために生徒には何が必要か？
- どの本人中心のプロセスを利用するか？
- 誰がファシリテーターになるか？

本人中心の計画作成には、どのようなタイプがありますか？

本人中心の計画作成には様々な方法がありますが、最も一般的なのは MAPS と PATH です。

MAPS (McGill Action Planning)

MAPSプロセスは、生徒の参画、人間関係、才能に注目する創造的なアプローチを使用します。生徒の過去の体験、将来の夢と不安、生徒の現状と好み、生徒のコミュニティや家庭での生活に関連する質問にチームは共同で回答します。次に、チームは、この情報を使って、生徒が自分の夢に近づくのに役立つ行動を考え出します。チームの責任と完了日を含む、段階的な計画が作成されます。

PATH (Planning Alternative Tomorrows with Hope)モデル

PATHプロセスでは、生徒の将来の計画を立てるのに図や絵を使用します。長期的目標と短期的目標を明らかにした後、逆方向計画方法を使用して、これらの目標に到達するための具体的なステップを見つけるのに役立ちます。PATHは、「北極星」と呼ぶ夢および次の年の目標で始まります。次に、希望の目標に生徒を到達させるために、6つのステップからなる計画を立てます。

ファシリテーターは、どのようにして選びますか？

ファシリテーターには、家族や友人、学校のスタッフ、他の専門家になることができます。ファシリテーターは、生徒の夢や希望を見つけるために、話を聞くのが上手であり創造的に働くことができる必要があります。



また、本人中心の計画作成プロセスに関与するようチームのメンバー全員を励ますことができる必要もあります。ファシリテーターは、本人中心の計画作成のトレーニングを受けている必要はありませんが、受けていれば役立ちます。経験があるスタッフがいるか学区に尋ねてください。または、本人中心の計画作成のトレーニングを受けた地域のファシリテーターのリストをペアレントツー ペアレント オブ Georgiaに請求してください。

本人中心の計画作成について知っているべきキーポイント:

- これは、時間をかけて行うプロセスです。一度だけのイベントではありません。
- コミュニティへの参加をベースにしています。
- 個人の短所ではなく長所に焦点を合わせます。
- 参加者は、型にはまらず創造的に考えることが要求されます。
- 従来のサービス提供者と協力することによって機能します。
- こうすべきだと他人が考えていることではなく、生徒の目標と希望に焦点を合わせます。
- 学校だけでなく生徒の生活の全側面に関連します。
- 将来のために新しいチャンスを生み出すことが目的です。

ご家族のための助言:

- その程度に関係なく、あらゆるタイプの障害を持つ個人が、本人中心の計画作成から恩恵を受けることができ、参加すべきです。
- お子様に可能な方法で参加させてあげてください。たとえば、お子様がグループで話すのは気が進まない場合には、ミーティングの前にチームのメンバーと個別に会わせてください。
- プロセスに兄弟姉妹や他の家族を含めてください。
- お子様の友達やクラスメートに参加を呼びかけてください。
- (社会復帰、デイサービス提供者、ヘルスケアの専門家など) 大人のサービス提供者を含めてください。
- 計画を再検討し目標の状況を更新するために、ミーティングを定期的に行ってください。

詳細な情報については以下にご連絡ください。

ペアレントツー ペアレント オブ Georgia (Parent to Parent of Georgia)

770 451-5484 または 800-229-2038

www.p2pga.org

Georgia州教育省特殊教育サービス支援局 (Georgia Department of Education, Division for Special Education Services and Supports)

404 656-3963 または 800-311-3627 に電話し、「特殊教育(Special Education)」

に電話を回すよう伝えてください。

http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx

Georgia州教育省移行マニュアル (Georgia Department of Education Transition Manual)

<http://www.doe.k12.ga.us/Curriculum-Instruction-and-Assessment/Special-Education-Services/Pages/A-Framework-for-the-Local-District---Revised-2008,-Updated-2011-.aspx>

Georgia州省庁連携移行審議会 (Georgia Interagency Transition Council)

www.gatransition.org

その他の情報源: 学区の特殊教育ディレクター (Special Education Director) にご相談ください。